

神奈川県保健医療計画 進捗状況評価調書

＜項目＞

第6章 患者の視点に立った質の高い医療体制の整備

第8節 開かれた医療の取組み

とりまとめ担当課：ヘルスケア・ニューフロンティア本部室

1 課題に対する平成27年度の実績

(1) 開かれた医療の取組み	
	→アミノインデックス®がんスクリーニング（AICS）を普及するため、国の地方創生交付金（地域消費喚起・生活支援型交付金）を活用し、県民が未病に関する商品やサービスを割引価格で購入できる事業（未病市場創出促進事業）の商品の一つとして AICS を採択した。また、県職員（地方職員共済組合）向け人間ドック、県職員の指定年齢健診、及び県内の教職員（公立学校共済組合）向け人間ドックにおいてとして引き続き AICS をオプションとした。 →京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区や国家戦略特区の取組みを進めた。 →国際的医療人材の養成を目的として、平成31年に県立保健福祉大学に公衆衛生学研究科を設置することを公表した。

2 参考指標の推移

取組 区分	指標 区分	指標名	単位	神奈川県			出典等
				H25年度	H26年度	H27年度	

3 課題ごとの進捗状況の評価

(1) 開かれた医療の取組み

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	・未病市場創出促進事業の商品の一つとして AICS を採択した。また、県職員（地方職員共済組合員）向け人間ドック、県職員向け指定年齢健診、及び県内の教職員（公立学校共済組合員）向け人間ドックにおいて AICS をオプションとした。 ・国際的医療人材の養成を目的として、平成31年に県立保健福祉大学に公衆衛生学研究科を設置することを公表した。
評価理由	・未病市場創出促進事業を行うことにより、AICS 受診者数が増加した。 ・検討を進めてきた国際的医療人材養成機関の設置について、具体的な設置形

	態を決定し、公表した。 以上のことから、課題解決に向けて比較的順調に進捗している。
今後の取組みの方向性	・更なる AICS 受診者数の増加に向けて、精密健診機関等の新規開拓を進める。 ・引き続き、特区における取組を進めていく。・国際的医療人材養成機関について、平成 31 年の開設に向けた取組を進めていく。

4 総合評価

評価	評価理由
B	・ AICS の普及促進、国際的医療人材養成機関の検討など、開かれた医療に係る取組を着実に進めており、課題解決に向けて比較的順調に進捗している。

5 特記事項

--